

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 倉敷市		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 710 -8565 倉敷市西中新田640	
本票作成	部署名：環境リサイクル局環境政策部環境政策課				
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務		
事業の概要	地方公務 職員： 2,253 人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島清掃工場		倉敷市水島川崎通1-1-4	
	②	児島モーターボート競走場		倉敷市児島元浜町6-3	
	③	本庁舎		倉敷市西中新田640	
	④	水島下水処理場		倉敷市水島西通1丁目	
	⑤	玉島下水処理場		倉敷市玉島乙島8255-4	
	⑥	児島下水処理場		倉敷市児島小川町3695	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 777 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 26 )年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	69,746 t CO <sub>2</sub>	82,398 t CO <sub>2</sub>	65,561 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26 )年度排出量
	①	水島清掃工場	34,551 t CO <sub>2</sub>
	②	児島モーターボート競走場	5,248 t CO <sub>2</sub>
	③	本庁舎	3,145 t CO <sub>2</sub>
	④	水島下水処理場	3,677 t CO <sub>2</sub>
	⑤	玉島下水処理場	2,442 t CO <sub>2</sub>
	⑥	児島下水処理場	2,689 t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 ( 5 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	( 26 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 18.1 %	6.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 26 )年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

## 【削減状況の自己評価】

・エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量は、「省エネ・温暖化対策推進委員会」を年2回開催、また主要施設の省エネ法に基づくエネルギー管理(省エネ・温暖化対策研修、管理標準の活用と充実、エネルギー月報の運用等)を重点的に行った結果、前年度に比較し削減できた。

・水島清掃工場の廃プラスチック類の組成比率が高くなったため、非エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量は前年度より増加した。

**【推進体制】**

- ・温室効果ガス排出削減と省エネルギーを総合的に推進するため、「省エネ・温暖化対策推進委員会」を平成22年度より、毎年運用している。
- ・エネルギー起源CO2排出量の削減は、エネルギー管理規定を策定し、特定事業者としてエネルギー管理体制を継続的に整備し推進している。
- ・非エネルギー起源CO2排出量の削減は、廃棄物量の削減、分別収集等について事業者、市民の協力を得ながら取り組んでいる。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(26年度実施分) 玉島下水処理場 水島下水処理場 児島下水処理場 水島下水処理場  水島下水処理場 児島下水処理場  児島モーターボート競走場 消防局倉敷消防署合同庁舎  児島消防署  (今後実施予定分) 水島下水処理場 児島モーターボート競走場 児島支所、玉島支所、真備支所	(26年度実施分) ・省エネVベルト交換 平成26年 (3下水処理場でCO2削減量 55 t/年)  ・下水処理施設散気装置更新 平成27年～28年 (CO2削減量 43t/年)  ・誘導灯のLED化 平成26年 (CO2削減量 11t/年)  ・施設照明 (LED照明の採用) 更新 平成26年度 (CO2削減量 8 t/年) ・設備省エネ改善 (CO2削減量 84t/年) 中央監視センター装置のBEMS化、高効率化熱源更新、PAC高効率化更新、ボイラーの高効率化 ・設備省エネ改善 (CO2削減量 3t/年) 簡易BEMSの導入、揚水ポンプ更新、PAC高効率化更新  (今後実施予定分) ・下水処理施設散気装置更新 (CO2削減量 15t/年) ・施設照明 (LED照明の採用) 更新 平成26年度 (CO2削減量 5 t/年) ・熱源・空調設備の高効率化----① 照明器具及び誘導灯のLED化----② 自動制御装置の更新 (BEMS化) ----③ (①②③の合計CO2削減量166t/年)

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

無し